

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	設計方法小委員会	主 査 名：日色真帆 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：菊地成朋 主 査 名：西出和彦
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築・都市・環境の設計方法に関わる理論や実践を広く調査収集し体系化することで広く会員に敷衍させ、設計・デザインの質的向上に貢献する。他学会と連携しデザイン研究分野の発展に寄与する。「関係性のデザイン」に着目する。</p> <p>初年度：先進事例収集、研究動向把握、他学会との連携（デザインシンポジウム 2010 開催）関係性のデザイン事例収集</p> <p>2 年度：事例収集、研究動向把握、関係性のデザイン事例収集（継続）</p> <p>3 年度：関係性のデザイン理論展開、他学会と連携（デザインシンポ 2012 開催）</p> <p>4 年度：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) これまでの成果の普及展開 書籍（設計方法の教科書）刊行の検討 2) 「関係性のデザイン」に関する事例収集・調査研究活動（継続） WG を中心とした設計プロセス研究、設計支援システムに関する調査研究活動。 3) デザイン研究関連他学会（デザインシンポジウム等）との連携。 4) 小委員会 HP による情報発信 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>日色真帆（東洋大）、山田哲弥（清水建設）、本江正茂（東北大）、遠藤政樹（千葉工大）、大西康伸（熊本大）、近藤伸亮（産総研）、武田有左（ANET lab.）、仲隆介（京都工繊大）、長坂一郎（神戸大）、増村昭二、門内輝行（京都大）、柳沢和彦（武庫川女子大）、脇坂圭一（名古屋大）、和田浩一（職能大）、渡邊朗子（東京電機大）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>設計プロセス研究WG：先進的な事例・最新の研究情報を収集・分析・整理し、広く会員に情報発信する。</p> <p>設計支援システムWG：デザイン活動を支援する様々なシステムについて最新事例を調査・収集し、今後のあり方を探る。</p>	
2013 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/index.htm

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	10 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	該当なし（設計方法一般に関する教科書出版企画の検討）
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 設計方法一般に関する教科書について議論、目次検討 2) 各委員が事例を報告 3) Design シンポジウム 2014（日本建築学会、日本機械学会、精密工学会、日本設計工学会（幹事学会）、日本デザイン学会、人工知能学会の共同開催）に向けた検討。 4) HP 更新をしている。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1) 設計方法についての教科書の構成、執筆、出版 2) 遠方委員の旅費確保 3) 関係性のデザインに関する調査研究事例の確保